

令和3年12月26日  
全国農業協同組合連合会（JA全農）

小学生カーリング日本一は盛岡カーリングスポーツ少年団！目指すは未来の日本代表  
JA全農が「ニッポンの食」で子どもたち&元オリンピックらを激励  
～JA全農チビリンピック2021 第3回 全農杯 全日本小学生カーリング選手権大会～

JA全農は、12月26日（日）に神奈川県横浜市の横浜銀行アイスアリーナで開催された「JA全農チビリンピック2021 第3回 全農杯 全日本小学生カーリング選手権大会」に特別協賛しました。2年ぶりの開催となった本大会に、全国各地から計8チーム約40人の子どもたち（小学4～6年生）が出場しました。決勝は「盛岡カーリングスポーツ少年団(岩手)」と「チーム西日本(西日本)」が対戦し、前半から堅実にポイントを取った「盛岡カーリングスポーツ少年団」が5-0で優勝。白熱した試合にゲストも拍手を送る中、小学生日本一の座を掴みとりました。



決勝戦

開会式では全農の池田幸夫参事が「『ニッポンの食』をしっかりと食べて、将来立派な選手になってほしい。最後まで元気にプレーしてください」と選手たちを激励。また出場チームを代表して前回大会優勝チームの新潟ジュニア（新潟県）が「日頃の練習の成果を出し切ります」と元気よく選手宣誓し、大会が開幕しました。



あいさつをする池田参事



新潟ジュニア（新潟県）が選手宣誓

### ■プロの技が光る「デモンストレーション」に子どもたちも大興奮

試合開始前の練習時間では、元オリンピックの山口剛史さん、小笠原歩さん、大澤明美さんや現役で活躍している「チーム富士急」の皆さんなど、日本トップ選手らが子どもたちに投げ方などをアドバイスしました。子どもたちは終始頷きながらプロの技を身につけようと真剣な様子でした。

練習の終盤には、ゲストだけで行うデモンストレーションが披露され、正確なショットに、子どもたちをはじめ保護者の方々からの拍手が会場中に広がりました。

本大会は、各チームにゲストを1名ずつ配置し、試合中もアドバイスする場を設けるなど、カーラーの育成に力を入れるとともに、子どもたちの夢を応援しています。



ゲストによるデモンストレーションの様子

### ■JA全農から新潟県産米「新之助」を贈呈

JA全農は、優勝、準優勝、3位の入賞チームへ、副賞として新潟県産米「新之助」合計300kgを贈呈。JA全農の安田忠孝代表理事専務から副賞を受け取ると、チームに笑顔が溢れました。そのほか参加賞では「石川佳純(かすみん)カレー」をはじめとした商品を提供し、子どもたちを「ニッポンの食」で応援しました。



優勝



準優勝



3位

【大会結果】

優勝	準優勝	3位
盛岡カーリング スポーツ少年団 (岩手)	チーム西日本 (西日本合同チーム)	帯広CA (北海道)
4位	5位	6位
新潟ジュニア (新潟)	チーム青森キッズ (青森)	T・Cジュニア (東京)
7位	8位	
軽井沢 Junior (長野)	チーム山梨 (山梨)	



ゲスト・子どもたち全員の集合写真



試合中の模様

### ■「もぐもぐブース」で子どもたちの栄養補給をサポート

会場では出場チームの都道府県産のジュースをはじめ、全農ブランド商品などを揃えた「もぐもぐブース」を設け、子どもたちのハーフタイムや試合前後でのエネルギー補給用の食材を提供。食材ごとに適した摂取タイミングや、何に役立つ栄養素が含まれる食材かを紹介するパネルを掲出し、スポーツをする上での「食の大切さ」を子どもたちに伝えました。



「もぐもぐブース」で食材を選ぶ子どもたち



商品を選ぶゲストの山口選手や子どもたち



ニッポンの食を手に笑顔

### ■子どもたちの夢や目標を絵馬に！「カーリング日本代表選手」へのエールも！

会場では子どもたちへカーリングストーン型の絵馬を配布し、子どもたちの夢や目標、日本代表選手の皆さんに向けた応援メッセージを募集。「オリンピック選手になりたい」や「(例)世界一に向けてガンバレ～ニッポン」などのメッセージが集まり、全農の商品ブランド「ニッポンエール」の新商品「福岡県産あまおうジュレショコラ」と「岡山県産『飲むジュレ（ニューピオーネ・清水白桃）』」を絵馬と引き換えにお渡ししました。



絵馬に夢や目標、日本代表選手へのメッセージを記入



子どもたちの想いのこもったメッセージ



ジュレショコラと飲むジュレを手に笑顔



